

2023年10月6日（1日目）

17:00-18:30 年次大会キックオフセミナー（企画：若手の会）

2023年10月7日（2日目）

9:30-10:45 一般口頭発表①【バイオメカニクス】（自由ヶ丘会館4階 多目的ホール）

10:55-12:10 一般口頭発表②【バイオメカニクス】（自由ヶ丘会館4階 多目的ホール）

13:00-14:30 シンポジウム（自由ヶ丘会館4階 多目的ホール）

「地方から世界へ」

演者：草薙 健太（中京大学水泳部監督：WUG2023 ヘッドコーチ）

幸野 邦男（山梨学院大学：ニューメキシコ大学元ヘッドコーチ）

小島 毅（山梨学院大学水泳部コーチ）

司会：萬久 博敏（鹿屋体育大学水泳部監督）

15:00-16:30 プールサイドセッション（福原学園屋内公認プール）

「OWS の発展と今後の課題」

演者：太田 伸（枚方 SS）

梶本 一花（枚方 SS・同志社大学：世界水泳 2023OWS・WUG2023 日本代表）

司会：馬場 康博（新潟医療福祉大学）

17:00-17:15 ポスター発表ショートプレゼンテーション（自由ヶ丘会館1階 食堂）

17:15-17:30 協賛企業プレゼンテーション（自由ヶ丘会館1階 食堂）

17:30-19:30 懇親会（自由ヶ丘会館1階 食堂）

2023年10月8日（3日目）

8:30 受付（自由ヶ丘会館1階）

9:00-10:15 一般口頭発表③【水中運動、調査・実践研究】（自由ヶ丘会館4階）

10:25-11:40 一般口頭発表④【心理学・生理学】（自由ヶ丘会館4階 多目的ホール）

11:50-12:30 一般ポスター発表（自由ヶ丘会館3階 J304 教室）

13:00-13:30 一般口頭発表⑤【学校教育】（自由ヶ丘会館4階 多目的ホール）

13:30-14:00 【学校教育：特別基調講演】（自由ヶ丘会館4階 多目的ホール）

「水泳授業の現状と Water Safety Literacy」

発表者：合屋十四秋（愛知教育大学名誉教授 / 前日本水泳・水中運動学会 会長）

14:10-15:30 パネルディスカッション（自由ヶ丘会館4階 多目的ホール）

「未来に伝えたい水泳の科学の舞台裏」

演者：栗木 明裕（筑紫女学園大学：世界水泳 2023 日本代表帯同トレーナー）

伊藤 浩志（日本水泳連盟 AS 委員会）

高橋 篤史（朝日大学：日本水泳連盟 科学委員長）

司会：洲 雅明（大分県立芸術文化短期大学）

15:35 総会（自由ヶ丘会館4階 多目的ホール）

15:50 閉会式（自由ヶ丘会館4階 多目的ホール）

2023年 日本水泳・水中運動学会 年次大会

[一般発表]

【一般口頭発表】

日程	セッション	No	代表者氏名	代表者所属	発表題目
10/7 (2日目)	一般口頭発表① 【バイオメカニクス】 9:30-10:45	O-1	工藤重忠	筑波大学	クロール泳におけるストローク中の3局面に発揮するパワーとその増大に関わる胴体と上肢のキネマティクス
		O-2	谷口慎稀	東京工業大学大学院	選手ごとの筋力特性を考慮した自由形ストロークの個別最適化シミュレーション
		O-3	中園優作	筑波大学大学院	PIV法を用いたフラッターキックの役割の検討
		O-4	出口雄基	大阪教育大学大学院	ビート板およびフィンの使用有無によるフラッターキックの動作変化
		O-5	鷺野壮平	産業技術総合研究所	水泳中の前方投影面積を理解する～動的評価への拡張に向けて～
	一般口頭発表② 【バイオメカニクス】 10:55-12:10	O-6	山川啓介	日本女子体育大学	筋シナジーに基づくバタフライ泳中の運動制御の特徴～熟練度が異なる泳者の比較～
		O-7	田中貴大	立命館大学総合科学技術研究機構	競泳選手における下腿および足部の形状と水中ドルフィンキックの泳速度との関係
		O-8	三瀬貴生	新潟医療福祉大学	異なる年齢間における水中ドルフィンキック泳のキネマティクスの比較
		O-9	石井瑛章	筑波大学大学院	競泳スタート局面における動作・筋活動解析～エントリー期からグライド期に着目して～
		O-10	尾関一将	大阪体育大学	競泳リレー種目におけるステップオーバーリレーススタートは有効か？
10/8 (3日目)	一般口頭発表③ 【水中運動、調査・実践研究】 9:00-10:15	O-11	水野加寿	城西大学	脳出血右片麻痺患者に対する水面ボール操作自立水中歩行訓練による麻痺脚の支持足化
		O-12	渡邊泰典	仙台大学	河川における身体の浸水範囲の違いが深部体温、冷覚および主観的体温に及ぼす影響
		O-13	大寄達也	大阪教育大学大学院	日本一流競泳選手におけるスタート合図前の構え方の調査
		O-14	明石啓太	環太平洋大学	2000年以降の国内競泳競技レベルの変遷～国際大会との比較から～
		O-15	林勇樹	追手門学院大学	機械学習を用いた競泳レース分析システムの開発
	一般口頭発表④ 【心理学・生理学】 10:25-11:40	O-16	三村朋裕	筑波大学大学院	グレーディング能力が4泳法の泳速度と動作に与える影響
		O-17	加納聖士	鹿屋体育大学大学院	競泳のトレーニングデータフィードバックが目標設定に与える影響
		O-18	新野杏奈	筑波大学大学院	競泳選手における最大乳酸蓄積率とスプリントパフォーマンス変数の関係
		O-19	金川悠太	福岡大学大学院	200mキック泳パフォーマンスに関連する呼吸循環器指標について
		O-20	藤本知臣	新潟医療福祉大学	低水温下で行われるオープンウォータースイミング時の全身の温度感覚における皮膚温度感受性の重要性
一般口頭発表⑤ 【学校教育】 13:00-14:00	O-21	石川雄一	香川大学	香川県教育委員会のライフジャケット推進事業について～令和4年度の事業報告～	
	O-22	重枝武司	九州共立大学	主体的・対話的に課題解決に取り組む学習指導の検討～水泳指導における指導内容・方法の工夫を中心に～	
		—	合屋十四秋	愛知教育大学名誉教授	【特別基調講演】

【一般ポスター発表】

日程	セッション	No	代表者氏名	代表者所属	発表題目
10/8 (3日目)	一般ポスター発表	P-1	佐藤大典	大阪体育大学スポーツ科学センター	Anaerobic critical velocityと距離別パフォーマンスの関係
		P-2	荻原 謙太	日本大学大学院	競泳男子100m平泳ぎにおけるスタート・ターンタイムとトータルタイムの相関分析～競泳日本選手権2012年-2023年各年度の調査～
		P-3	川崎大翔	九州共立大学大学院	負荷泳が自由形の泳パフォーマンスに及ぼす即時的効果
		P-4	古賀大樹	東京工業大学	両上肢欠損泳者の Underwater Undulatory Swimming の特徴
		P-5	林大成	立命館大学	水泳競技選手における下肢筋サイズと水中ドルフィンキックの泳速度の関係
		P-6	豊田郁豪	東京学芸大学大学院	骨盤覆う形状の浮き具を用いた水泳指導が平泳ぎの泳動作に及ぼす影響
		P-7	下田嶺	大東文化大学	クロール泳のSwim・Pull・Kickでの生理的応答
		P-8	坂上輝将	筑波大学	寒冷水中環境での最大下運動時における解糖系代謝の亢進と骨格筋の低酸化
		P-9	高田大誠	北翔大学大学院	転倒予防を目的とした水中運動プログラム実践による身体機能改善効果～積雪寒冷地域住民を対象に～
		P-10	谷本晃輝	日本大学大学院	水泳の部活動地域移行の課題：スイミングクラブ指導者の視点から
		P-11	西留駿平	九州共立大学	競泳選手における特異的陸上トレーニングの即時的効果について
		P-12	野口智博	日本大学文理学部	選考レースと主要国際大会の記録の比較～2023年世界選手権の日本・アメリカ・オーストラリアの比較より～
		P-13	洲雅明	大分県立芸術文化短期大学	福岡世界選手権2023水球競技におけるデータ分析～世界、そして日本はどう戦ったのか～